

XTONE

Duo

SMART STOMP

日本語マニュアル

XSONIC

RELOAD YOUR TONE

はじめに

XTONE Duo の基本的な機能とパフォーマンスは、1チャンネル入力モデル XTONE とほぼ同じです。違いは、XTONE がエクスプレッションペダルのインターフェイスが搭載されているのに対して、XTONE Duo は代わりにマイク入力チャンネルが追加されている点です。つまり、Duo には2チャンネルのオーディオ入力があり、1つにはギターなどのインストゥルメント（左チャンネル、INL）、もう1つはマイク入力（右チャンネル、INR）となっており、この入力は最大 50dB のゲイン調整ノブが付いています。

マイク入力については、このマニュアルの後半（ファンタム電源のオン/オフ、XLR アダプター、XTONE Duo との組み合わせると良い APP と設定）も併せてご覧ください。



上 : XTONE、下 : XTONE Duo

クイックスタート

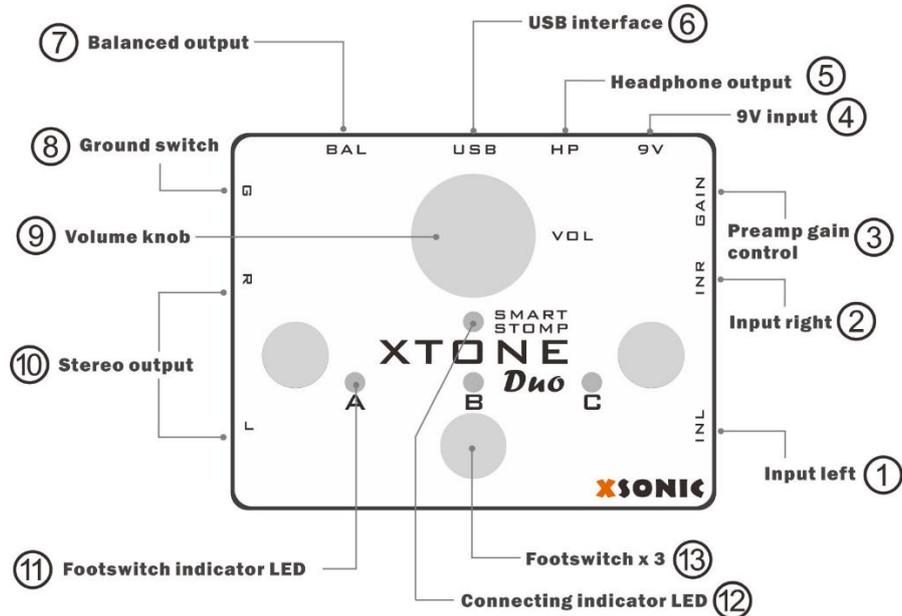
- a. モバイルデバイス（またはコンピューター）と XTONE Duo を接続します。LED が点灯します。
- b. エフェクト APP（アプリ）を起動します。
- c. ギター、ベース、キーボードを接続してください。
- d. ヘッドフォンやアンプを接続して、音量を調節してください。
- e. あとは演奏するだけ!

XTONE Duo はペダル型のオーディオインターフェイス/MIDI コントローラーですが、特徴ある機能から我々は **SMART STOMP** と呼んでいます。

モバイルデバイスの APP を使って、本格的なデジタルエフェクター/アンプとして活用できます。

推奨 APP: **BIAS FX**、**Amplitube**、**JamUp** など

各部の名称



①楽器入力端子

ギターやベースを接続する端子で、Lチャンネルとなります(実際の動作はアプリによる)。ラインレベルの電子楽器にも対応します。

②マイク入力端子

マイクを接続する端子で、Lチャンネルとなります(実際の動作はアプリによる)。標準 TRS フォン端子となります。XLR からの変換については「XLR アダプター」をご覧ください。

③ゲインコントロール

マイク入力に対応するプリアンプのゲインを調節します。最大で 50dB のゲインを付加します。

④9V 電源端子 (センターマイナス)

通常は使用しません。

⑤ヘッドフォン端子

ステレオヘッドフォン (ミニプラグ) を接続します。

⑥USB 端子

デバイスと付属の USB ケーブルで接続 (電源供給もされます)。Lightning 端子に接続する場合は付属のアダプターを使ってください。

⑦バランス出力端子

ステージ上などで長い伝送距離が必要な場合に、バランスケーブルを接続します。

⑧グラウンドスイッチ

バランス出力を使っている際、グラウンドループによるノイズが発生する場合に切り替えます。

⑨出力ボリュームノブ

ヘッドフォン出力、バランス出力、ライン出力のボリュームを調整します。

⑩ステレオライン出力端子

ギターアンプやミキサーに接続するアンバランスのステレオアウトです。

⑪フットスイッチ LED

3つのフットスイッチに対応した LED で、グループ（バンク）の状態も表示します。

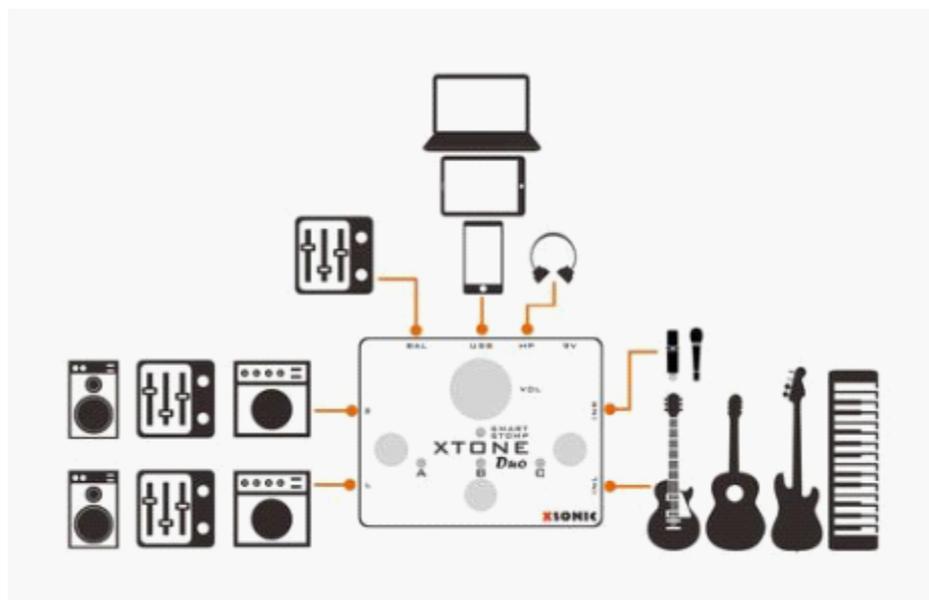
⑫ステータス LED

動作している場合に点灯します。また異なるモードを異なるカラーで表示します。

⑬フットスイッチ

フットスイッチを踏むと対応する CC コマンドが送出されます。送出のされ方には3つのモードがあります。

接続例



エフェクト APP

X-TONE Duo はスマートフォンなどのモバイルデバイスで動作する、様々なギターアンプ/エフェクトアプリと組み合わせて使えます。進化し続ける今日の APP は驚くほど高音質で、実在するエフェクトペダルやギターアンプを再現してくれます。



人気のある APP (アプリ、ソフトウェア)

APP	Supported devices
JamUp	iOS
BIAS FX	iOS,Windows,Mac
BIAS	iOS,Windows,Mac
Guitar Rig	Windows,Mac
AmpKit	iOS,Mac
Revalver	Windows,Mac
AmpliTube	iOS,Windows,Mac,Android
Mobile POD	iOS
POD Farm	Windows,Mac
Overloud TH2	Windows,Mac

通常は、エフェクト APP を使用する際、オーディオ機器の設定が必要です。同様に、各フットスイッチやエクスプレッションの機能についても、APP 内で設定してください。

通常は APP にある MIDI 設定で、パッチのアップ/ダウンやチューナーのオン/オフなどを設定します。また各エフェクトペダルのオン/オフについては、MIDI ラーン機能を使うのが一般的です。

ステレオ入力に対応している APP の場合は、入力に合わせてチャンネルを選択してください。例えば複数の APP を起動して、L チャンネルでギター、R チャンネルでボーカルに別々のエフェクトをかけることもできます。

なお Windows 環境でお使いの場合は、専用のドライバーをダウンロードしてお使いください。

<https://xsonicaudio.com/pages/support>

また、デバイス設定などについては、各 APP のマニュアル等も併せてご覧ください。

ファンタム電源のオン/オフ

XTONE Duo にはマイク入力チャンネルがあり、コンデンサーマイクを使用する際に必要なファンタム電源を供給することができます。ファンタム電源はデフォルトではオフになっていますが、オンにするには次のようにします。

- (1) ボタン A を 5 秒間長押しします。
- (2) 4 つの LED が緑色に点灯し、ファンタム電源がオンになります。

ファンタム電源をオフにするには、もう一度ボタン A を 5 秒間長押しします。4 つの LED が赤色になります。

※コンデンサーマイクを使用しない場合は、ノイズを減らすためにファンタム電源を切ってください。

XLR アダプター

バランスタイプのマイクケーブルを使う場合は、付属の XLR アダプターを使うことで接続できます。



XTONE Duo との組み合わせると良い APP と設定

VocaLive、JamUp、BIAS など、スマートデバイスのボーカルマイク用のエフェクトソフトウェアも多数あります。その中でも、JamUp と BIAS は、ボーカルのスピーカーシミュレーションが組み込まれているため、マイクで使用するとより良い結果が期待できます。さらに、リバーブ、コーラス、ディレイを追加すると、優れたボーカルサウンドが得られるでしょう。

ギターにエフェクトをかけ、歌と演奏を同時にマイクにエフェクトかける場合には、以下の設定が必要です。

- (1) ギターエフェクト APP を起動し、バックグラウンドモードで実行するように設定し、オーディオ入力チャンネルを L (左) に設定します。
- (2) マイクエフェクト APP (BIAS FX など) を開き、バックグラウンドモードで実行するように設定し、オーディオ入力チャンネルを R (右) に設定します。
- (3) それぞれのエフェクトを調整し、2 つの APP の音量バランスを調整し、ギターと歌が適切なバランスになるようにします。

フットスイッチについて

XTONE Duoには3つのフットスイッチが装備されています。それらを実作すると対応したMIDI コマンド（コントロールチェンジ）をデバイスへ送ります。

APP 中でこれらの機能をアサインすることで、プリセットの変更、ペダルのオン/オフ、レコーダーのスタート、ルーパー機能のコントロールなど様々な操作が可能です。

MIDI コントロールグループ（バンク）

XTONE Duoは3つのMIDI コントロールグループ（= バンク）を備えています。A、B、Cのフットスイッチを長押しすると異なるグループになります。グループが変わると、点灯するLEDの色も変わります。

A グループ - グリーン

B グループ - ブルー

C グループ - レッド

各グループによって下の表のように、異なるMIDI CCメッセージが送出されます。使用前に、APP で必要なMIDI グループ（バンク）をリストで確認してください

A group – green		B group – blue		C group – red	
FS A	CC 10	FS A	CC 22	FS A	CC 30
FS B	CC 20	FS B	CC 24	FS B	CC 43
FS C	CC 11	FS C	CC 25	FS C	CC 42

なお JamUp ユーザーの方でしたら、そのまま以下のパラメーターにアサインされています。もちろん APP 内で機能を変更することが可能です。

A group – green		B group – blue		C group – red	
FS A	Preset –	FS A	Toggle STOMP	FS A	Play/Stop Jam Player
FS B	Toggle selected effect	FS B	Toggle MOD	FS B	Start/Stop dub
FS C	Preset +	FS C	Toggle DLY	FS C	Play/Stop Sampler

MIDI コントロールモード

XTONE Duo には 3 つの異なる MIDI コントロールモードを装備しています。2 つのフットスイッチを同時に押すことで、モードが変わります。その際、ステータス LED が対応するカラーで点滅し、モードを表します。なお、電源を切っても最後に設定したモードが保持されます。

APP によって対応するモードが異なりますので、実際に試してみてください。

モード 1:

A+B スイッチを同時に押す。LED がグリーンに点滅します。

対応 APP; JamUp、BIAS FX、AmpKit+、AmpliTube (Windows)

モード 2:

A+C スイッチを同時に押す。LED がブルーに点滅します。

対応 APP; Guitar Rig (Disable Hold モード時)、AmpliTube (iOS)

モード 3:

B+C スイッチを同時に押す。LED がレッドに点滅します。

エフェクトを個別に ON/OFF するときに使用します。

同じ APP 内でも異なるモードを使用することもできます。例えば Amplitude (iOS) や ToneStack では、モード2 でプリセット切り替え、モード3 でエフェクトのオン/オフを行えます。また、Guitar Rig の Disable Hold モード時では、モード2 のみ全てのコントロールが可能です。

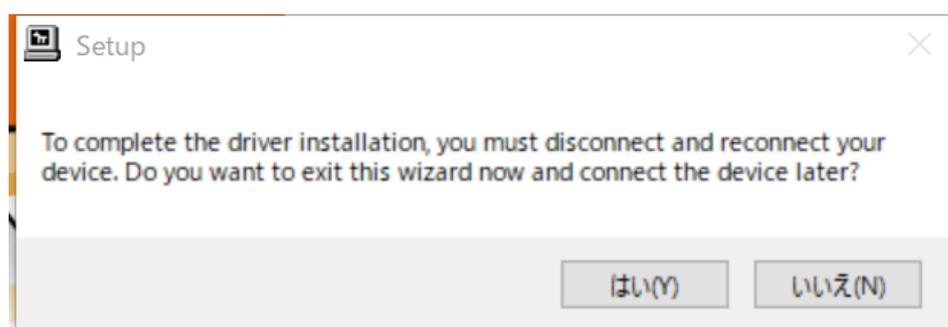
Mode 1 blinking green	Mode 2 blinking blue	Mode 3 blinking red
Press A+B	Press A+C	Press B+C
For JamUp、BIAS FX、 AmpKit+、 AmpliTube(Windows)	For Guitar Rig、 AmpliTube(iOS)、 ToneStack	For some APP's toggle pedal function

Windows 環境でお使いになる場合には、ドライバーのインストールが必要です。

Windows 環境で使用する際は、必ず専用ドライバーを以下からダウンロードして、インストールしてください。

<https://is.gd/Q0ee7s>

ダウンロードしたファイルをダブルクリックして進めます。



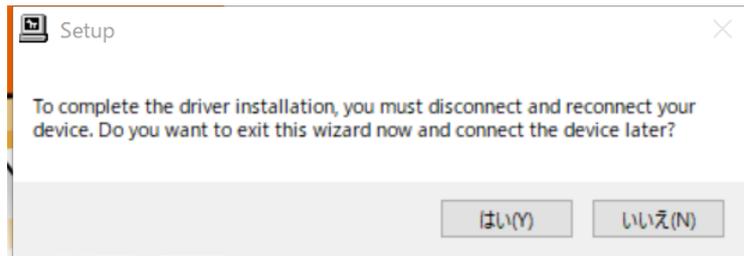
上記のメッセージが表示されたら、XTONE Pro を一旦接続しなおしてください。

各音楽制作ソフトウェアからこのドライバーは、ASIO デバイスとして「XSONIC USB Audio Device」という名称で認識されます。

トラブルシューティング

Windows ドライバーのインストール

Windows 環境で使用する際は、必ず専用ドライバーを以下からダウンロードして、インストールしてください。 <https://is.gd/Q0ee7s>



ダウンロードしたファイルをダブルクリックして進めます。上記のメッセージが表示されたら、XTONE Duo を一旦接続しなおしてください。

各音楽制作ソフトウェアからこのドライバーは、ASIO デバイスとして「XSONIC USB Audio Device」という名称で認識されます。

フットスイッチでのコントロールが効かない

スイッチのコントロールモードが適してない可能性があります。モードを切り替えて試してみてください。